

おばあちゃんがハチに!?

新見市立上市小学校

六年 森 かな恵

「どうしたこと?」

「おばあちゃんがハチになつたんよ。」

ガハハッ。と、おばあちゃんは、大きな口を開けて笑いながら言いました。

私のおばあちゃんは、畑でいろんな野菜を作っています。

毎年の私のお気に入りは、おばあちゃんの作る大きなズツキーニです。みずみずしくて、あまくて、やわらかくて、大好きです。そのズツキーニが、今年はピンチです。ズツキーニは、カボチャなどと同じように、受粉しないと実がならないそうです。が、その役わりをするハチや虫が、今年は、暑さのせいかいなくて実がなりません。おばあちゃんは、ズツキーニを食べれるのを楽しみにしている私のために、どうすればいいか農協の人に聞いてくれたらしいのです。そして、お花をめ花に受粉させるのだと教えてもらい、さつそく次の日から、おばあちゃんミツバチの出動です。

ズツキーニの畑は、家から少しはなれた下の畑に植えているので、毎朝、おばあちゃんは受粉のために、よつこら

よつこらと歩いて通つてくれていました。そして、そのため花とお花が咲くのも早朝だけらしく、九時くらいになるとしほんでしまうので、朝早く畑に行つてお花を取つてめ花に花粉をつけてくれていました。

数日後、おばあちゃんがニコニコしながら、

「かなちゃん、畑に行つて見てごらんよ。」

と言つたので、行つてみると、なんと!め花の下についていた小つちやい実が、長くなつて、ズツキーニができるいました。

「えつ!!スゴツ!!」

家に帰つておばあちゃんに、

「ズツキーニできとるが。」

と言つたら、

「じゃろう。まだ、次々できるけえ、いっぱい食べえよ。」と、おばあちゃんは、うれしそうに私に言いました。お母さんにも、ズツキーニを見せると、

「えつ、できなつて言つてたのにすごいな。」

と、びっくりしていました。

緑色がツヤツヤしていて、もうおいしそう。おばあちゃんミツバチ、すごいです。夜ごはんは、ズツキーニ食べ放題。ぶた肉で巻いたり、天ぷらにしたり、もちろんそのまま焼いてもおいしいです。

来年もピンチだつたら、朝早く起きて、おばあちゃんの手伝いができるようにしよう。

「おばあちゃん、ありがとう。毎朝、大変じゃつたろ。」「ううん。こんな、ズツキーニの作り方もあるんじやなあつて、勉強になつたで。ありがとな。」やつぱり、やさしいおばあちゃんも、おばあちゃんの作るズツキーニも、最高です。